

大阪国際大学

これからの社会を変える人材の創出



「学生チャレンジ制度」(本文参照)でカンボジアを訪問する学生。問題意識を育んだのは、大学の海外研修だった。

様々な自己成長の きっかけを提供 「学位」実力保証」に

コンパクトな大学ならではのきめ細やかな学生支援や、ユニークな取り組みを通じて地域に貢献する人材を育成してきた大阪国際大学。今後、中堅大学として、どのような責務を果たそうとしているのか。2012年新学長に就任した、北川俊光氏に改革の方針などについて取材した。

「学生満足度」という 指標に左右されない

2012年4月、大阪国際大学学長に就任した北川俊光氏は、ハーバード大学院ロースクールを修了した現役の弁士。大手電機メーカーで国際法務の責任者を務めた経歴をもつビジネスパーソンでもある。教育をサビス業になぞらえるような、企業流、改革論者であるかといえば、決してそうではなく

「ビジネスの論理を教育に持ち込んではいけません」と語る。
「利益を追求するビジネスの考えは教育にはそぐわない。本学では、教職員が一人ひとりの学生に愛情をもつて接します。これはビジネスの論理からは出てこない発想」と北川学長。顧客満足度を思わせる「学生満足度」という指標にも疑問を呈する。「日々の授業を徹底し、社会に通用する実力を身につけさせる大学にします。だから学生にも努力させます。(自先の)学生満足度に左右されてはいけません」

就職サポート体制 「全国4位」

同大学は以前から「面倒見のいい大学」を標榜している。たとえば就職指導。その丁寧さには定評があり、「就職サポート体制全国第4位」(週刊ダイヤモンド)2011年12月10日号「就職に強い大学」特集)としてマスメディアで紹介されたこともある。学生一人あたり5.7回の個別面談を行うなどの丹念さが評価されていることだ。就職指導に象徴されるように、学生一人ひとりをフォローする体制は行き届いている。それでも北川学長は

面倒見のいい大学は 面倒見の悪い大学でもある

「将来的には、大学入学からの学習履歴などをデータ化して、それに基づいた教育を行うところまできめ細かくやりたい」と、「面倒見のいい大学」の進化形を思案している。一方、「面倒見よく」手取り足取り支援するだけではない。ボランティア活動や近隣住民を巻き込んだ「朝市」(コラム参照)など、学生の自主的な行動を促進する仕掛けも多い。その一つに「学生チャレンジ制度」がある。「職業体験をしたい」「海外で何かをしたい」など、端的に言えば学生の発意で何をしてもいい制度だ。採択された企画には最大で50万円の支援金が用意される。この機会に夢を叶えたいと願う学生がグループを形成、熱いプレゼンテーションで教職員を説得するのだ。

単位を取れば 自動的に卒業、ではない

この取り組みにかかわった学生は、普段の学生生活でも目標をもって行動を起こすように成長するということ。そんな姿勢が企業からも見えるのだろう。携わった学生は概ね希望通りの就職を遂げているそうだ。

この「学生チャレンジ制度」に限らず、同大学では様々な成長のきっかけを用意しているが、いずれも単体で成果をあげるものではない。あらゆる場面で求められるプレゼン技能などは、初年次からの教育で訓練されている。やはり「核は日々の授業」(北川学長)なのだ。
「これからは単位を修得すれば自動的に卒業ということではなく、本学が与える学位がほんとうに社会で通用するものだという裏付けになる『ディプロマポリシー』も厳密に適用していきます」

結局のところ授業という土台がなければ何も身につかない。教員、職員、学生がベクトルを合わせて「授業」という日々の営みを地道に続けていくことが、「強いていえば一番の改革になる」というのが北川学長の決意である。

未来へ向けた研究・取り組み



毎年100名以上の学生が海外へ

開学以来「GLOBAL MIND (グローバルマインド)」をキーワードに掲げ、国際人の育成に取り組んでいる大阪国際大学では、欧米、中米、アジア、オセアニアなど世界各国に39校の協定校を展開。最長1年間の「協定校派遣留学」、約1ヶ月間の「短期海外研修(語学)」のほか、「短期海外研修(体験学習)」として、「海外インターンシップ」「国際ボランティアワークキャンプ研修」「日本語教員アシスタント」などの多彩なプログラムを構築、毎年100名以上の学生が海外を体験している。(2012年現在)

ボランティア活動

大阪国際大学では、地域社会の人の役に立つとともに、自分も大きく成長できる機会として社会貢献活動への参加を奨励。「被災地ボランティア派遣」も継続的に実施している。学生自らが企画・計画を立てた活動の意義や成果が認められた場合は、単位として認定している。「地域に対する貢献度一大阪府下の私立大学で第2位(※)」という評価を受けたこともある。

(※)『日経グローバル』2011年11月21日発行「全国大学の地域貢献度ランキング(上)」より



地域のひとと人をつなぐ「朝市」

枚方キャンパスでは、定期的な「朝市(OIUマーケット)」を開催。大学近隣で生産される農作物や農産物を使用した加工食品、手作り品、こだわり品などの出店を募り、キャンパスを「市場」として地域の人々に開放している。学生たちの自主的な企画・運営を促し、PBL(Project-Based Learning)の一環として行っている。

大阪国際大学



問合せ先 〒570-8555
大阪府守口市藤田町6-21-57
TEL/06-6907-4310
(入試・広報部)

URL/http://www.oiu.ac.jp/

ビジネス学部、現代社会学部、国際コミュニケーション学部、人間科学部 4学部8学科
創立:1988(昭和63)年 学生数:3451名(2012年5月)